

安全管理体制の 更なる充実強化を目指して



静岡市消防局長 秋山 義隆

静岡市消防局は、平成28年4月1日消防広域化を図り、島田市、牧之原市、吉田町及び川根本町の2市2町から消防事務（消防団事務及び消防水利設置、維持、管理事務は除く。）の委託を受け、1本部、2部8課、9消防署、1分署、23出張所、職員1,039人体制で86万住民の命を預かる消防組織となりました。広域化から6年が経過し、火災をはじめ各種災害による被害の軽減を図り、安全・安心に暮らせるまちづくりに積極的に取り組んでいます。

当消防局の管轄は、静岡県中央部に位置し、北に赤石岳や間ノ岳など3,000m級の山々が連なる南アルプスから、南は日本最深の駿河湾に至るまで約2,356km²もの広大な面積を有しており、江戸時代には「箱根八里は馬でも越すが、越すに越されぬ大井川」と唄われた東海道一の難所である大井川や、羽衣伝説の舞台でもあり富士山世界文化遺産の構成資産に登録された三保松原を始めとした美しい自然環境の宝庫でもあります。

また、運輸交通面では東名高速道路や新東名高速道路に加え、令和3年8月には山梨県から太平洋を結ぶ中部横断自動車道の全線が開通となり、東海道新幹線、国際拠点港湾である清水港、県内で唯一の空港である富士山静岡空港等のインフラ整備により陸・海・空の拠点として、更なる発展が期待されているところです。

防災面においては、甚大な被害が予想される南海トラフ巨大地震の発生が危惧されており、日頃から多数の方が利用する防火対象物の防災対策を徹底させるとともに、広域化による各市町災害対策本部との連携を重視し、タブレット端末の配備などにより、災害の情報共有を図り、迅速且つ的確な対応に取り組んでいます。

更に当消防局では、令和2年に発生した倉庫火災において、消防職員3名と警察官1名が殉職する事故が発生したことを受け、令和3年度から警防課内に【災害機動支援・部隊管理室】を設置し、災害現場での隊員の活動の監察・検証を通し、安全体制の確立、災害対応能力の強化と現場活動における教育に重点を置いてきました。

令和4年度からは、同室を再編し、【安全対策課】を新設、「安全管理に係る施策の企画及び調整」、「警防業務の活動支援並びに監察及び検証」、「職員の能力及び知識の向上並びに育成」、「災害に係る情報収集及び関係機関との連絡調整」などの業務を行い、安全管理体制の更なる充実強化を図っています。

今後も、安全・安心を未来につなぐ、住民の皆様の期待に応える消防を目指し、「不撓不屈」の精神で、全職員一丸となって業務に取り組んで参ります。